

【アメリカ】2018年同盟国責任分担報告法案の提出

2018年7月11日、マイク・リー（Mike Lee）上院議員（共和党、ユタ州）は、同盟国との責任分担の問題を取り上げる法案（S.3198）を提出した。この法案は「2018年同盟国責任分担報告法案（Allied Burden Sharing Report Act of 2018）」と称されるものであり、同盟各国の貢献の実態について、連邦議会が把握する必要があることを規定している。その上で、共同防衛に関する同盟各国の貢献や責任分担の状況をまとめた年次報告書を毎年3月までに連邦議会に提出することを国防長官に求め、その報告書の中で、国内総生産（GDP）における防衛費の割合を国別に明記することなどを求める内容となっている。加えて、同盟各国がそれぞれの経済力に見合った貢献を行うよう、大統領が同盟各国に働きかけていくべきであるとも規定している。

この法案が提出された7月11日と翌12日は、北大西洋条約機構（NATO）首脳会議の開催日（ブリュッセル）であり、この法案も、NATO首脳会議の時期にあわせて提出されたと見られている。ただし、この法案は、欧州の同盟国だけを対象とするものではなく、日本、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、湾岸協力会議（Gulf Cooperation Council）加盟国（アラブ首長国連邦、バーレーン、クウェート、オマーン、カタール、サウジアラビアの6か国）も対象に含めることを明記している。

この法案の共同提出者は、パット・トゥーミー（Pat Toomey）上院議員（共和党、ペンシルバニア州）とデイビッド・パーデュー（David Perdue）上院議員（共和党、ジョージア州）の2名である。2018年9月現在、この法案は成立に至っていない。

海外立法情報課・西住 祐亮

- ・ <https://www.congress.gov/bill/115th-congress/senate-bill/3198/text>
- ・ <https://www.defensenews.com/smr/nato-priorities/2018/07/12/bill-would-make-pentagon-track-allied-defense-spending-for-congress/>